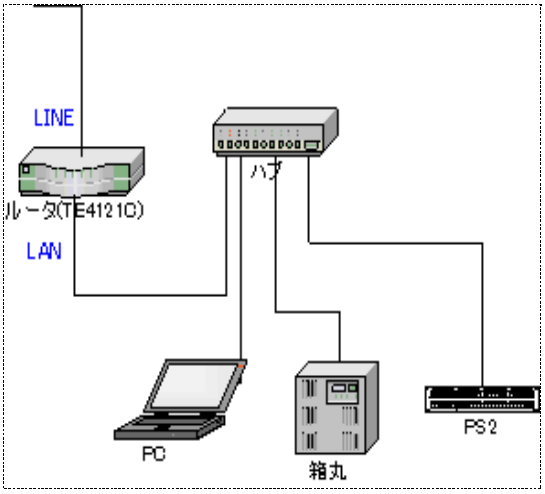
＜事前準備＞
事前に「簡単ガイド」「取扱説明書」を準備してください。
ttp://www.eaccess.net/support/modem/dl_te4121c.html からダウンロードも可能です。
作業中、インターネットにアクセスできなくなりますので、この資料もダウンロードしておくことをおすすめします。

◎ まずルーターの設定のバックアップを取っておきます。（念のため）
→ 方法については、取扱説明書のP.50 を参照してください。

◎ LANの結線状況を確認します。
（その他の結線については「かんたんガイド」の４番を参照してください）



*.PC=WindowsXPという前提です

＜設定手順＞

◎ ルーターの設定をリセットします。

1. メニューの「設定の初期化」をクリック

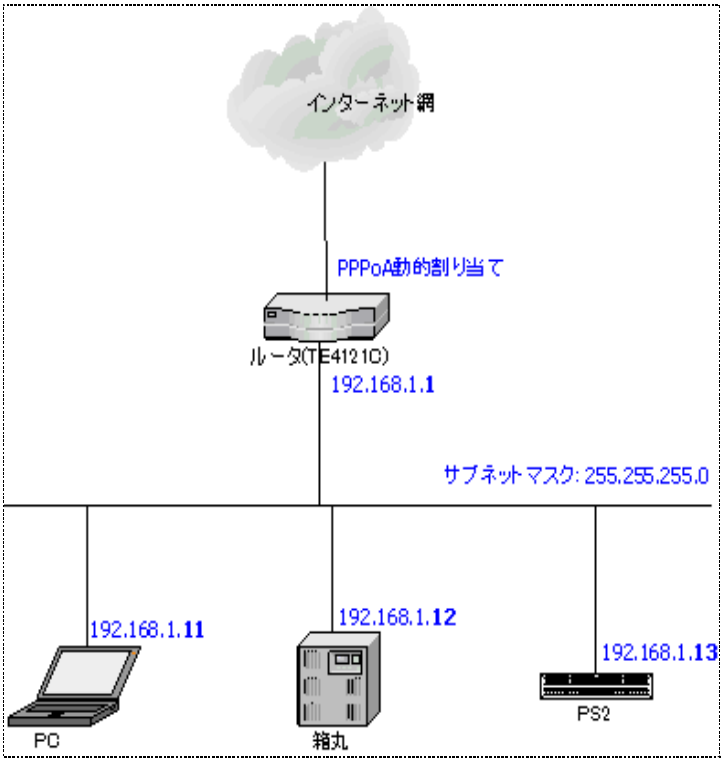
2. 「初期化」ボタンをクリック

3. 「再起動」をクリック

◎ 簡単ガイドの手順を一通りやり直し、まずPCでインターネットに接続できるところまでを設定してください。

ここまでが基本的な設定です。

PC,箱丸,PS2のIPアドレスを手動で割り当てます。
最終的には下図のような構成になります。



＜事前準備＞

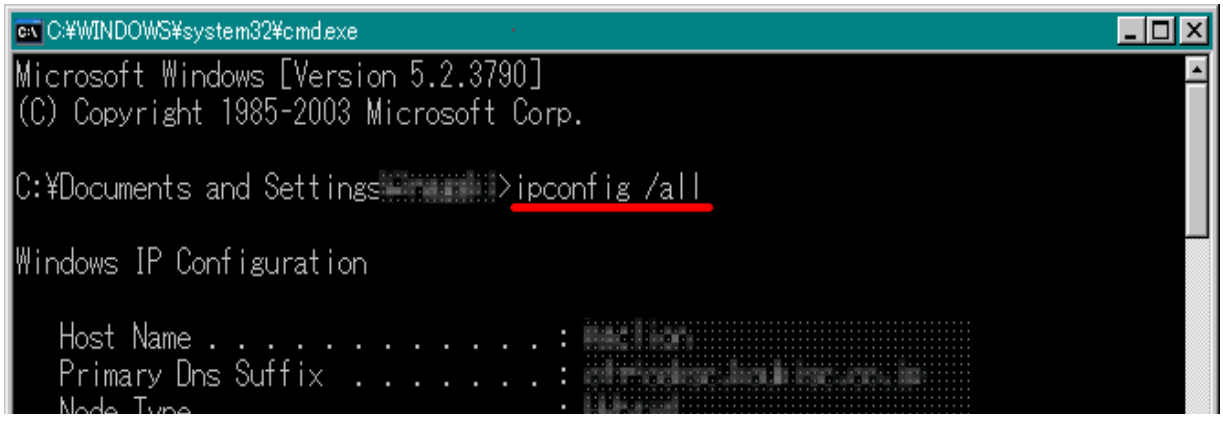
◎ PCのネットワーク設定を確認します。

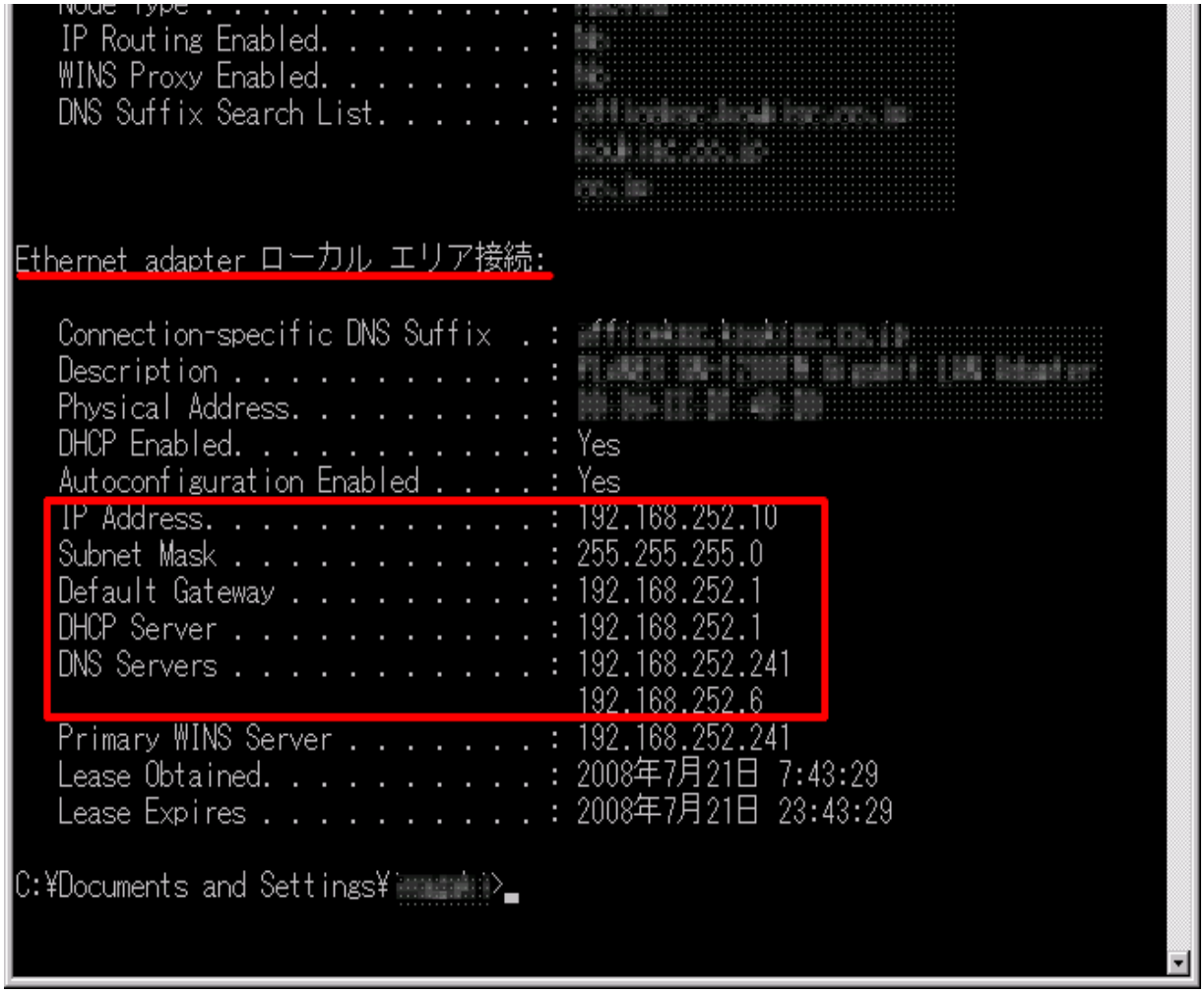
1. Windowsキー(ロゴのマークが刻印されたキー)を押しながら「R」を押してください。

2. 「cmd」を入力し「Enter」を押します。

3. 下図のように「ipconfig /all」と入力し、各種情報をメモしてください。
   メモしたら右上の「ｘ」で閉じます。

図）IPCONFIG /ALL の実行結果





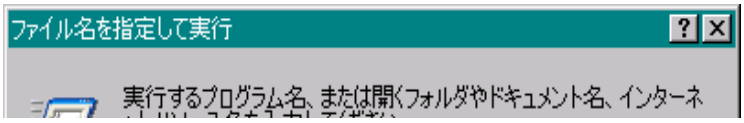
「ローカルエリア接続」の内容を確認します。

（メモ）		(例)
IPアドレス	- (メモ不要)	-
サブネットマスク		*255.255.255.0*
デフォルトゲートウェイ		*192.168.1.1*
DNSサーバー		*192.168.1.1*
(1つだけの場合は不要)→		*(なし)*

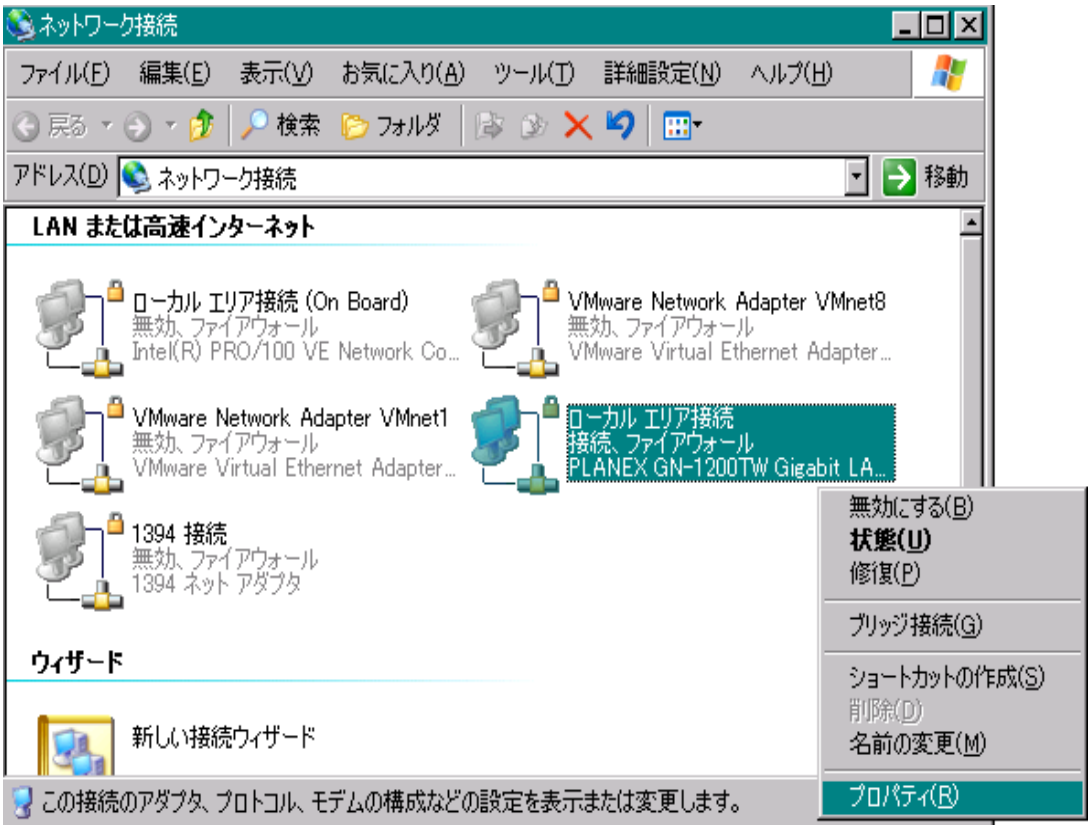
なお、これらの情報はPCだけでなく、箱丸、PS2へも入力します（共通）。

<PC設定>　　IPアドレスを 192.168.1.11 に設定する

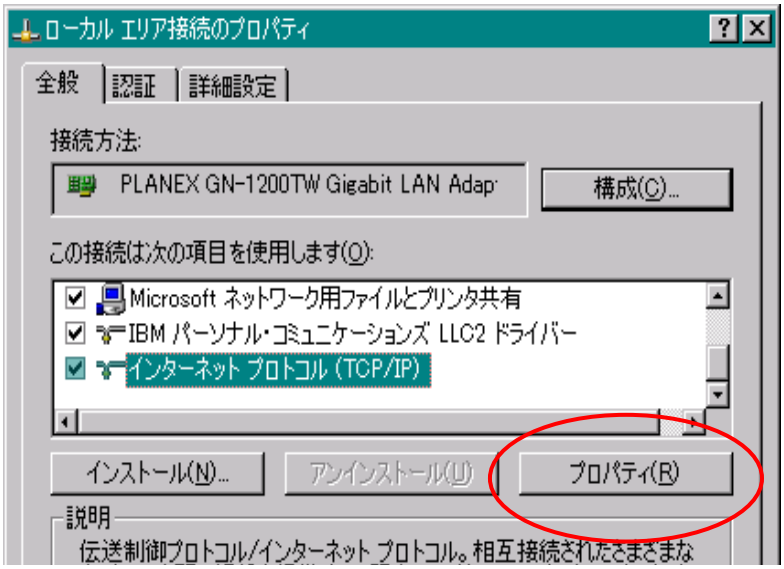
1. Winキー+R で「ncpa.cpl」を入力します

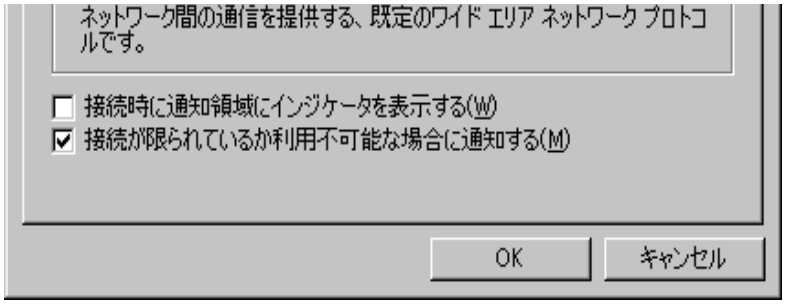


2. ローカルエリア接続を右クリックし、プロパティを開きます。

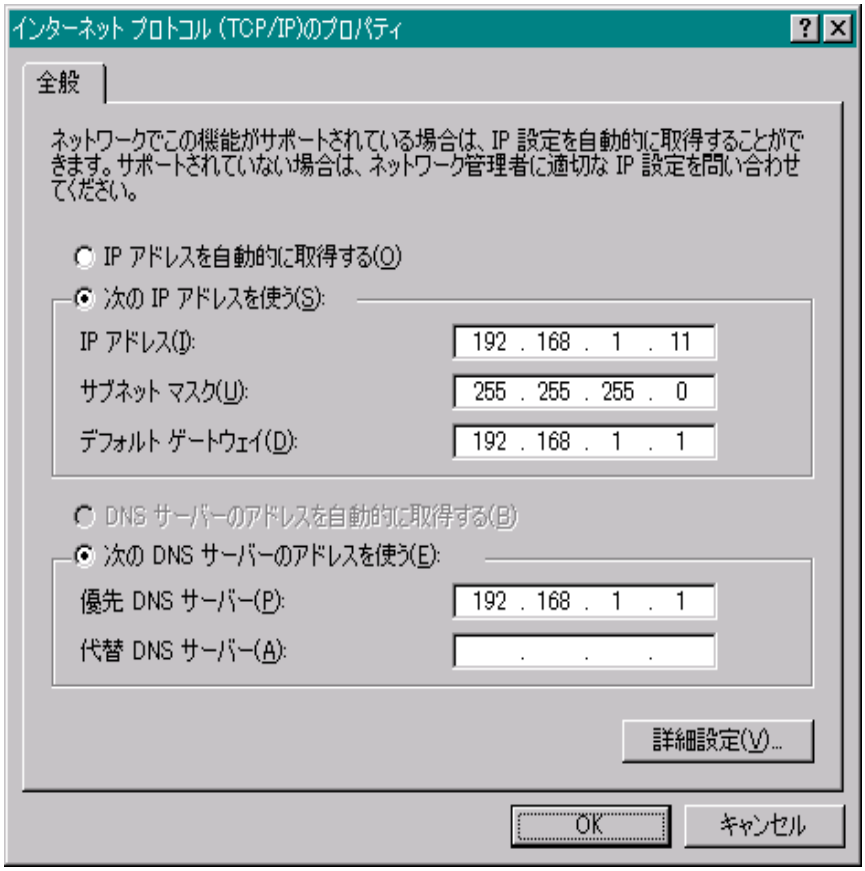


3. インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティを開きます。





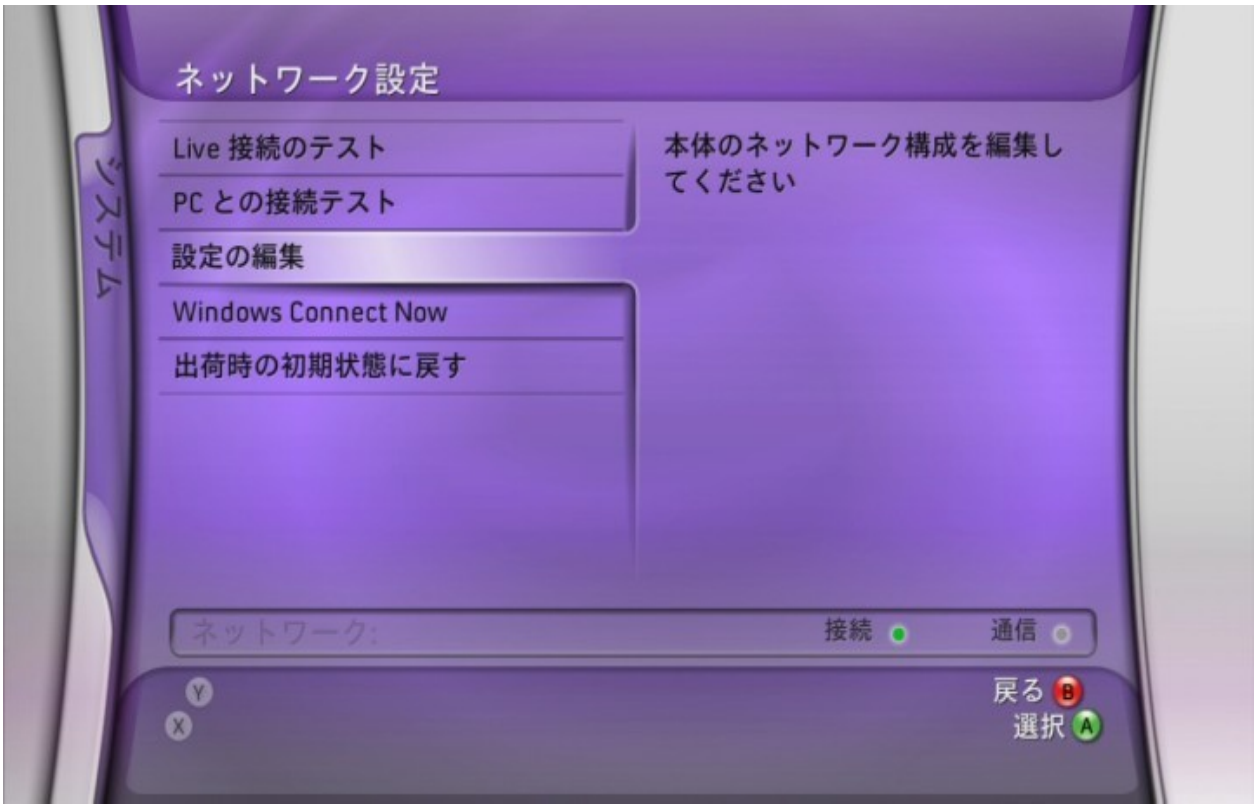
4. IPアドレスに「192.168.1.11」、その他は先ほどメモした内容を入力します。

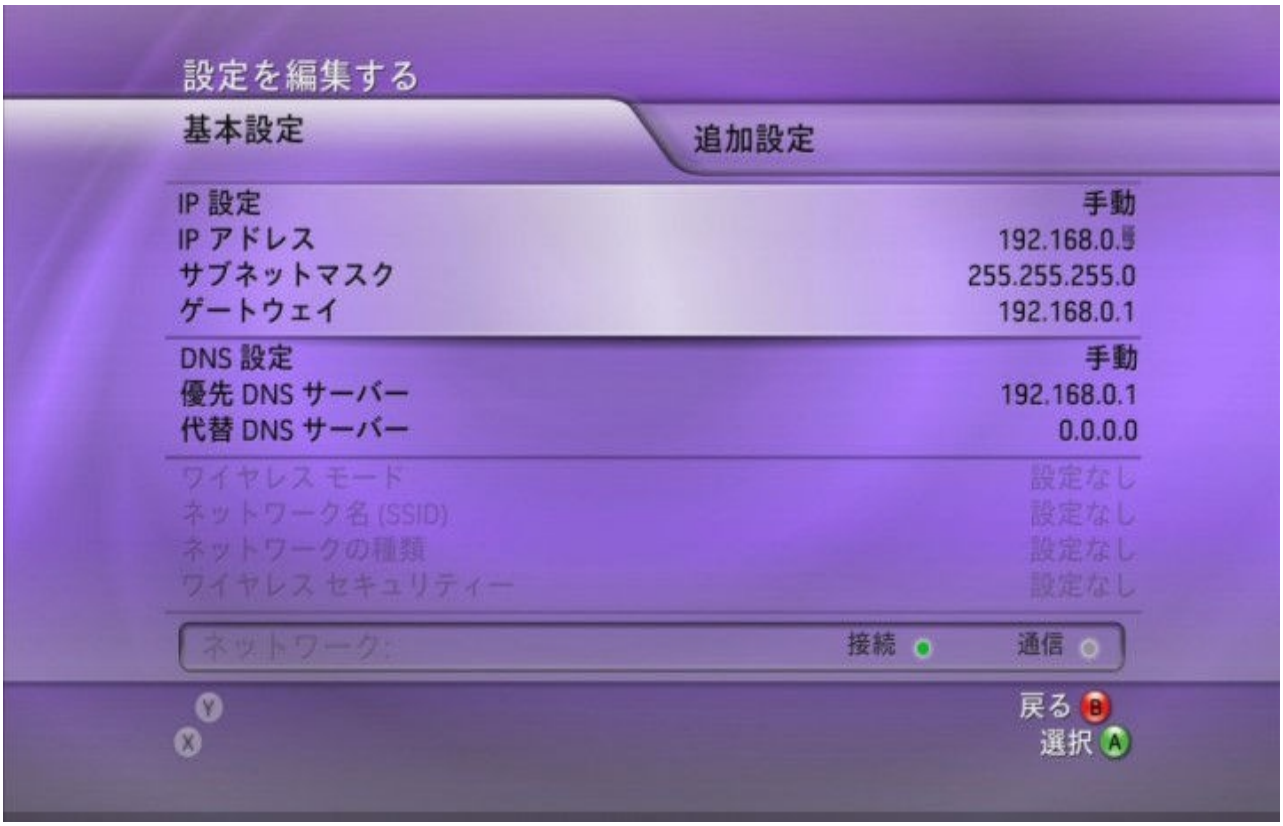


5. OK を押し、前の画面もOKを押します。

6. 画面を全て閉じ、ブラウザ等でインターネット接続の確認を行います。
   接続できるはずです。

＜箱丸の設定＞ IPアドレスを 192.168.1.12 に設定する





上記の画面まで進め、上から順に入力します。

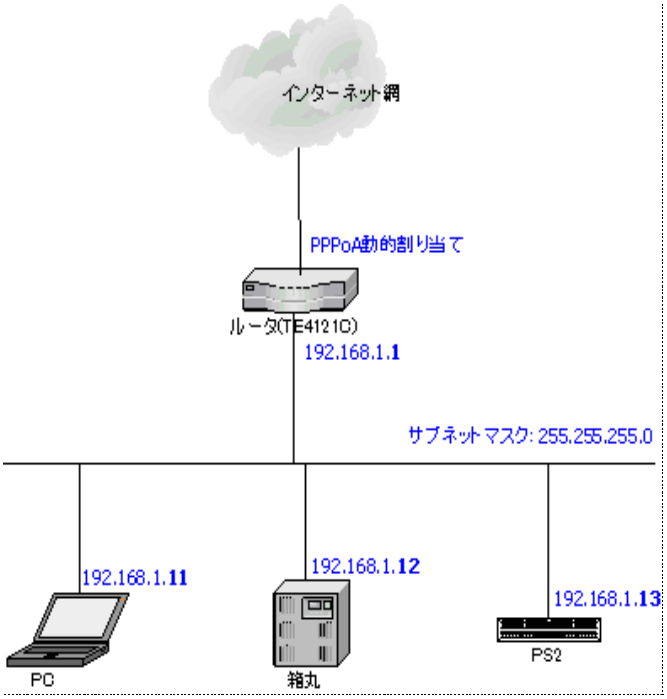
1. IP設定：手動
 2. IPアドレス：192.168.1.12
 3. サブネットマスク：先ほどメモした内容 (例: 255.255.255.0)
 4. ゲートウェイ：先ほどメモした「デフォルトゲートウェイ」 (例: 192.168.1.1)
5. DNS設定：手動
 6. 優先DNSサーバー：先ほどメモした内容 (例: 192.168.1.1)
 7. 代替DNSサーバー：先ほどメモした内容 (例: 空欄)

これでOKです。

＜PS2の設定＞　IPアドレスを 192.168.1.13 に設定する

めぼしい画像が見つからなかったのでテキストだけです（－－；

1. PPPoEを使用しますか？　「使用しない」
2. IPアドレスを自動設定しますか？　「自動設定しない」
 3. IPアドレス：192.168.1.13
 4. ネットマスク：先ほどメモした「サブネットマスク」 (例: 255.255.255.0)
 5. デフォルトルータ：先ほどメモした「デフォルトゲートウェイ」 (例: 192.168.1.1)
 6. 優先DNSサーバー：先ほどメモした内容 (例: 192.168.1.1)
 7. 代替DNSサーバー：先ほどメモした内容 (例: 空欄)
8. ネットワーク接続後ルータ設定をしますか？　「しない」 *.出ない場合あり



この状態でも、PCからのホームページ閲覧やメール送受信は可能です。
一方、箱丸やPS2のオンラインゲーム、場合によってはPCのオンラインゲームもプレイ不可のはずです。
この問題を解消すべく、ルーターにNATP(ポートフォワード)の設定を入れていきます。

<ルーターの設定>

以下、断りが無い限りPC上での操作とします。

・ ルーターの設定画面を表示します(管理者モード)。

・ インターネット網(WAN側)からのセキュリティ機能をOFFにします
→ ゲームサーバーからのアクセスを許可するため

1. メニューから「アクセス制限」をクリックします。

2. 各種禁止設定がONになっている場合は全てOFFにします。
註）セキュリティが気になる場合、IPアドレス毎にセキュリティの制御を掛けることができますが、ここではとりあえず全てOFFにしておいてください。
詳しくは(取説P.38)です。

・ **NATアドレス変換設定を行います。**
操作方法については取扱説明書のP.40を参照してください。
設定を下記の通り行います。

[共通]
接続先: 最初に設定したISP
ADSL側IPアドレス: 自分のADSL側IPアドレス

[個別: Xbox LIVE対応]

No.	優先度	LAN側IPアドレス	プロトコル	ポート番号
1	1	192.168.1.12	TCP	3074
2	2	192.168.1.12	UDP	3074
3	3	192.168.1.12	UDP	88

ポート開放に関する参考資料
[Xbox 360: Xbox LIVE]
http://support.microsoft.com/kb/908874/ja

[PS2: MMBB]
http://www.kddi.com/personal/mmbb/support/faq.html
→「自分の契約しているプロバイダーはマルチマッチングBBに対応してるの?」
*. ポート使用数が多いから設定は厳しいかも・・・

・ 以上で箱丸のNATがオープンになるはずです。
・ PCからのインターネット、Skypeも同時に使用可能です。

＜最後に雑多なメモ（でもこれが一番重要という説がｗ）＞

・内部からの要求に由来しない外部から内部へのアクセスは、NAT環境では不可なので、
今回のように、NATアドレス変換設定によって、あるポート(ソフトが使う通信コネクタ)を
固定的に内部の端末へ転送させる、という手法が一般的です。

・というワケですので、**新たに動作させたいソフト（ゲーム）が出てくるたびに、**
「使用ポート番号を調べる」→「NAT変換設定をメンテする」という流れになります。

・ちなみにSkypeは、色々な方法をソフト側で自動的に試してくれるようなので、
とくに設定を入れなくても使用できると思います。

・色々調べてみたのですが、TE4121Cはポート番号の範囲指定ができないらしく、
使用するポートが多いソフトの場合、かなり設定が面倒です。しかも最悪の場合、設定数
が限界値に達してしまうかもしれません。
この場合、結局「GapNAT」を使って「全ポートの転送」等を行う必要がでてくるかと思います。

・どの方法を採るにしても、その時々でルーターのメンテナンスを行う必要が
出てきます。これはPPPoEであっても同様です。